

## 市民と市長のタウンミーティング（要旨の報告）

日 時：令和8年2月5日（木） 18時30分～20時00分

場 所：ポラリス ROOM2

テ ー マ：財政健全化

参加人数：14人

開会挨拶、財政健全化ビジョンの概要説明後、参加者からの質疑に応答。

### <質疑応答>

#### 【参加者】

- ・ 以前の予算を作成する際に、もともと収支不足額を見込んだとの話があったが、当時のメンバーがなぜそれを止められなかったのか。
- ・ どのような状況だったのか、その原因が何か分析しているか。

#### 【市長】

- ・ 令和5年度決算時点で経常収支比率が99.4%と100%を超えないギリギリのところであった。
- ・ 令和6年度決算は101.5%と100%を超えた。
- ・ 予算編成にあたっては100%を超えないように作っている。
- ・ 大和市はこれまで手を広げ過ぎてしまっていたところに、人事院勧告によって職員給与が大幅に増加し、市立病院のドクター、ナースも含むので人件費が跳ね上がった。
- ・ また、対象年齢15歳、所得制限ありだった子ども医療費助成を前市長が対象年齢18歳、所得制限なしにしたことにより跳ね上がった。
- ・ この二つで10億円を超えている。
- ・ 令和6年度の経常収支比率が100%を超えた分を金額に換算すると8～9億円となる。
- ・ 100%を超えたのは社会情勢や市の判断など様々な要因がある。
- ・ 大和市は人口24.5万人で職員の定数は1033人。茅ヶ崎市は、大和市と人口が同じくらいで職員定数が約1150人。
- ・ 大和市は茅ヶ崎市よりも120人職員が少ないため、外部委託が多くなっている状況である。
- ・ 少ない人数でも職員は頑張っているが、残念ながら経常収支比率が100%を超えた。
- ・ 財政健全化プロジェクトリーダーと特命担当課長が財政構造を一から見直すために、徹底的に調査分析して問題点を明らかにした。
- ・ すべてを見直して財政健全化を実現させていく考えである。

#### 【財政健全化プロジェクトリーダー】

（財政健全化ビジョンP26の表8をスクリーンに投影）

表8：各年度総合計画 実施計画での財政見通し（一般財源ベース）  
（単位：億円）

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
歳入	468.4	469.4	476.5	494.0	511.4
歳出	492.0	509.8	507.5	524.0	543.5
収支不足額	▲23.6	▲40.4	▲31.0	▲30.0	▲32.1

各年度当初予算の歳入に計上した財政調整基金繰入金（単位：億円）

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
財調繰入金	17.7	18.9	18.5	21.0	25.0

\*当初予算での収支不足額は財調（財政調整基金）繰入金で穴埋め

- ・ 収支不足額について、多額の収支不足を解消しないと予算編成で多額の貯金（財政調整基金）を取り崩さないといけない状況であった。
- ・ ここで示している歳入は財政見通しの額であり、実際の税収はこの数字よりも多くなっているため、黒字決算が続けられていた。
- ・ 大和市は多くの事業を展開している中で、事業の見直しがなかなか難しい状況にあった。

#### 【参加者】

- ・ 先ほど、前の市長が決めたことが歳出増の要因のひとつと説明があった。
- ・ 令和5年度以前、古谷田市長は市議会議員だったので、その当時の議会はどうしていたのか教えてほしい。
- ・ 「財政健全化ビジョン」P33には、以下のことが明記されている。
- ・ 令和8年度予算は本ビジョンを先取りする形で、次の流れで予算編成作業を実施。
- ・ 《見直し作業1》一般財源1,000万円以上の事業を対象に各部かが見直し、国県基準、周辺市と同水準、R6年度事務事業精査での決定事項、市長指示ほか、その他各部かにて事業を見直した。
- ・ 一般財源の縮減額(令和7年度比マイナス10億円)とあるが、進捗はどうなっているのか知りたい。

#### 【市長】

- ・ 私の市議会議員時代は、シリウス、ポラリス、やまと公園といったハコモノの予算審議を行い、市民サービスの向上という点が評価され予算が承認された。
- ・ このことを批判する考えはないが、社会情勢からくる人件費、ランニングコストの伸びに加え、これらの3施設はどれも収益があがらない施設であることも重くのしかかっている。
- ・ シリウスもポラリスもたくさんのこどもが勉強などに利用しており、居場所としての機能は果たしているが、図書館も含め稼ぐところではない。

- ・現在の厳しい財政状況を予測する力が私を含む当時の議会になかった。
- ・経営感覚が不足しており、社会情勢で人件費がここまで跳ね上がることを見通せていなかった。
- ・こういったところを見通しながら予算を計画していかなければならないと痛感している。
- ・だからこそ財政健全化ビジョンを示して持続できる予算の形を作っていく。
- ・令和8年度予算、令和9年度予算も、それを見越してしっかりと計画していきたい。

【財政健全化プロジェクトリーダー】

(財政健全化ビジョンP27の表9をスクリーンに投影)

表9：予算）一般財源ベース見込 (単位：億円)

	令和8年度	令和9年度	令和10年度
市 税	402.9	418.3	426.5
地方譲与税・県税交付金 等	81.6	84.0	86.8
地方交付税・地方特例交付金	35.0	36.0	37.0
繰 越 金	10.0	10.0	10.0
そ の 他	9.2	9.4	9.6
<b>歳 入 合 計</b>	<b>538.7</b>	<b>557.7</b>	<b>569.6</b>
人 件 費	141.6	144.6	147.6
扶 助 費	92.6	96.7	101.5
公 債 費	60.0	61.5	62.7
物 件 費	141.7	148.7	156.1
補助費等・繰出金	122.7	126.4	131.2
維持補修費	4.4	4.8	5.2
普通建設事業費	5.9	5.9	6.0
そ の 他	1.0	1.0	1.0
<b>歳 出 合 計</b>	<b>569.9</b>	<b>589.5</b>	<b>611.2</b>
<b>収支不足額（歳出合計－歳入合計）</b>	<b>31.2</b>	<b>31.8</b>	<b>41.6</b>
財政調整基金による補てん	31.2	13.4	0
補てん後の財政調整基金残高	13.4	0	0

※上記表の数値は、令和7年8月28日市議会全員協議会資料「(仮称)大和市健全財政・改革ビジョン」の策定について」中の【総合計画 実施計画における財源不足額見込】に記載した財源不足額を算出した際の基礎データです。令和8年度見込については現在編成中の令和8年度当初予算の見積額を示すものではありません。

- ・この表は、令和6年8月時点の財政見通しである。
- ・令和8年度の収支不足額として、31.2億円で、先ほどお伝えしたとおり、収支不足が解消されないと貯金(財政調整基金)を取り崩さないといけない。
- ・何も対策をしなければ31.2億円取り崩さないといけないということで、財政健全化に向けた取組を進めることとなった。
- ・貯金が無くならないようにするには、一般財源の縮減額が令和7年度比で10億円を目安として削減していこうと考えた。

(財政健全化ビジョンP30をスクリーンに投影)

#### 4-(4) 取組策 ① 歳出事業の見直し手順

事業の実施/廃止/縮小は、各部かいが、部内の各事業について、次のフィルター1による優先順位付け、フィルター2による精査、点検をし、財政見通しの一般財源の範囲内で、総合計画の施策を確実に推進するためにどのような事業を展開すれば一番効果的かについてのマネジメントを行います。

優先順位付けと精査・点検の関係は、下記のクロス表のとおりです。例えば、フィルター1の①の事業は、フィルター2のアの項目の点検確認をし、フィルター1の⑥の事業は、フィルター2のア、イ、ウの項目の点検確認をします。

##### 【フィルター2 事業内容の精査・点検】

ア 最少の経費で最大の効果を得るためのコストパフォーマンス策、タイムパフォーマンス策はないか。漫然と前例踏襲をしていないか。

イ 他市（県内の類似団体（平塚市・小田原市・茅ヶ崎市・厚木市）を基本とし、必要に応じて他の類似団体及び近隣市とする）が実施している同事業と比較し、事業費、事業内容が突出していないか。

ウ 市が提供すべきサービスか。サービス提供は無償ですべきか有償とすべきか。民間に同等のサービスがないか。（市予算で行うべきか、市民が民間から得るべきか）

##### 【フィルター1 事業の優先順位付け】

- ① 実施が義務付けられている事業  
(法定受託事務、法令で実施の義務がある等)
- ② 令和9年度にまたがる期間の契約を令和8年度までに締結済みの事業
- ③ 地方債の元利償還金及び人件費（会計年度任用職員分を除く）
- ④ 国庫支出金、県支出金の対象事業
- ⑤ 公共施設の管理運営、維持、運転管理事業
- ⑥ 市の条例で実施することが定められている事業
- ⑦ 市の規則、要綱、規程で実施することが定められている事業
- ⑧ 市の要領、要項、基準等で実施することが定められている事業
- ⑨ 上記①から⑧に該当しない事業

クロスで確認するイメージ

	フィルター2	ア 最少経費で 最大効果 前例踏襲確認	イ 他市比較	ウ 実施主体検討 無償か有償か
フィルター1				
① 実施が義務			—	—
② 契約締結済			—	—
③ 公債費・職員人件費		—	—	—
④ 国・県補助金対象事業				—
⑤ 公共施設運営・維持管理				
⑥ 市条例により実施				
⑦ 市規則、要綱、規程により実施				
⑧ 市要領要項等により実施				
⑨ 上記以外の事業				

- ・ 具体的にどの事業を削減したかは、現時点では予算案の状態であるため詳細をお伝えできないが、見直しの観点として、《フィルター1 事業の優先順位付け》、《フィルター2 事業内容の精査・点検》を、市役所全体、11部すべてで見直した。この作業を財政健全化ビジョンの策定と並行して行った。

#### 【参加者】

- ・ 今回、財政健全化ビジョンを発表する形になったが、この問題は急に起きたことなのか。
- ・ 2019年度の経常収支比率が99.7%、2020年は98%、2021年はコロナもあると思うが92%に若干下がっているが、2023年は99.3%、2024年は101.5%となった。
- ・ 2024年に喫水線を超えたのだが、それまでずっと喫水線すれすれの危ない状況が続いており、喫水線を超えたから急に大変だと慌て始めている。
- ・ 会計検査、監査、決算審査では適当だとされたとしても、会計監査の意見書に危ないのではないかと意見が述べられるはず。
- ・ このような危ない状況が続いていたのに何で健全化の取り組みがここまで延ばされてきたのか。

#### 【市長】

- ・ 財政が厳しい状況がずっと続いていたのはご指摘のとおりである。
- ・ 地方自治体、各市町村の経常収支比率は95~96%くらいになっているのが理想と考えており、100%までの差が4~5%で約20億円が余ることになる。
- ・ それがあれば、臨機応変に、市民の声によった事業に使ったり、緊急的に使うことができる。
- ・ 99%ということはお金が余っていない状態で、こういう状況が続いていた

というのは問題だったと思う。

- ・その時のトップがそういった判断をして、それを止めることができなかったということもあるし、なかなか難しい大和市の状況があったと思う。
- ・今はそういうことがないように、職員が一丸となって取り組んでいる。
- ・私が市長に就任後から、苦しい財政状況を改善させるため、事業を見直しして28億円削減し、市民の皆さんには申し訳ないが増税もした。
- ・本来、国民健康保険税と下水道使用料は3年おきに見直しして上げていくものであるが、前市長は10年以上、国民健康保険税の税額を上げなかったのので、大幅な値上げになってしまった。
- ・国民健康保険税の不足額は、市民の皆さんが払った市税で補てんしていた。
- ・大和市民には会社で働いている人が多いので、国民健康保険に加入しているのは市民の18～19%しかない。
- ・その2割程度の人しか入っていない国民健康保険税の不足額を、それ以外の人払った市税で補てんするのではなく、適正な金額に上げることを私が決め税率を引上げ10.7億円のプラスになった。
- ・下水道使用料については、前市長時代に7～8年引き上げが行われておらず、適正な受益者負担の水準から乖離していたことから、下水道法及び地方自治法が定める受益者負担の原則にのっとり、適正なコストを反映した使用料改定を実施し、歳入を約6.9億円のプラスとなった。
- ・このほか事業見直しで令和6年度2.5億円、令和7年度は8億円の歳出を縮減し、歳入増、歳出減の合計で28億円を実現したのだが、それでも足りなかったのが財政健全化に取り組むことになり、財政の構造見直しを職員一丸となって実施している。
- ・相模原市も令和元年に経常収支比率が102.5%になって財政健全化に取り組んでいたことがあるので、相模原市に出向いて財政健全化の取組を学んできた。
- ・相模原市は公共施設の見直しや徹底的な歳出削減を行った。
- ・そういったことが、市民が知らないうちに決まっているのではなく、市民に丁寧に説明をしながら財政健全化を実現している。
- ・大和市も同じように市民に丁寧に説明をしていきたいと思い、本日のタウンミーティングを開催している。
- ・これから財政構造を変えるために、しっかりとやっていく。

#### 【参加者】

- ・財政やお金のことはよくわかったので、財政健全化をして何を目標しているのか、どんな姿、どんな状況にしたいのかを教えてほしい。

#### 【市長】

- ・これから少子高齢化が進んでいくと、市政運営はさらに厳しい状況になる。
- ・何も手を打たなければどんどん人口は減っていく。
- ・日本が少子化になっていく状況を変えていかないといけないと思う。

- ・労働人口が減れば税収も減る。
- ・こどもが減って高齢者が増えているので福祉費は膨らんでいくが、膨らんだ福祉費を削るわけにはいかない。
- ・ならば大和市は稼げる市になっていかなければならない。
- ・瀬谷で花博、その後のテーマパークの動きがある。
- ・シリウス、ポラリス、やまと公園とお金が出ていく一方の施設をこのまま維持するためには、稼いでいる他市に学ばないといけない。
- ・県内で稼いでいる自治体は箱根町、海老名市、厚木市。
- ・厚木市は企業誘致で法人市民税を上げている。
- ・市街化調整区域の土地は、どんなにたくさんあっても市の財政には少ししか入ってこないが、その土地に企業が来ると、土地建物の固定資産税、法人市民税が入ってくるようになる。
- ・空いている土地に企業が来ると、住む人が増える場合に比べ、子育て、教育、高齢者福祉、障害者福祉などの福祉費がかからない。
- ・企業の利益を増やしてそこで稼いだお金を福祉にまわしていきたいと考えているが、そうなるには時間がかかるので、道路や街づくりの夢あるビジョンをつくっていこうと話合っているところである。
- ・市内には大きな工場が集積する工業地帯はないが、今の時代は小さい事務所でも稼げる産業は増えており、次世代型の創業支援、企業誘致のための道路整備、街づくりの再編成をしていきたい。
- ・建物をつくるだけでなく、自然と人との共生も必要と考えており、稼げる魅力ある市をつくり、企業誘致で入ってくるお金を福祉にまわしていきたい。

### <グループワーク（対話）>

- ・限られた時間で有意義な意見交換するため、以下の6点をお願いした。
  - ①「話す」こと以上に「聴く」を大切にする。
  - ②“否定せず”に、耳を澄ませる。
  - ③自分だけが正しいと思わず、断定しない。
  - ④付箋への落書きで意見のメモを残す。
  - ⑤話したくないかたは、聴く中心でも構わない。
  - ⑥特定の誰かが話し過ぎてしまって、他のかたが話せないときは、話し手を変わっていただく場合がある。
- ・A～Cの3グループで、自己紹介（大和市で好きな場所、タウンミーティングに参加した理由）後、財政健全化ビジョンの説明、6つの願いを踏まえて意見交換。
- ・各グループで意見をまとめ、以下の発表があった。

### <グループ意見発表>

#### 【Aグループ】

- ・市の歳入を増やすため、企業誘致や交流人口を増やしていくには、市の魅力

等の発信の仕方に工夫が必要である。

- ・ シリウスまでの道をステンドグラスにして、来てくれた人の心を誘うようにする、神奈川やまと古民具骨董市をそれだけで終わらせるのではなく食のイベントと組み合わせるなど、多くの人が集まることで地域経済が活性化し税収につなげていく。
- ・ 「やまと」という言葉の響きがよく、特別な魅力がある。
- ・ こういったことに加え、災害に強いまちといういいイメージを伝えていくことにより、データセンターなどの誘致に繋がる可能性もある。
- ・ 公共施設を整備したからといって、ずっとこのまま維持していくのは難しい企業誘致して歳入を増やしていく。
- ・ 財政健全化の取組にあたっては職員の発想の転換、行政が変わっていくことが必要である。
- ・ 例えば資料を紙で配るのではなく、全部デジタルにする。
- ・ 広く市民のかたを対象とする行政だからこそ、恐れずに丁寧に説明すればデジタルに寄せることも可能ではないか。
- ・ 市民に納得してもらうためには市が持っている情報をもっと上手くビジュアルで見せるとか、数字もオープンにして市民の理解を得ていく。
- ・ 隠すのではなく明らかにしていくことが市を前進させることになる。

#### 【市長】

- ・ 私も発想を柔軟にしていきたいと考えている。
- ・ 10億ドル以上、1500億円以上稼ぐユニコーン企業であるSakana AI（サカナAI）が東京に事務所を構えたことをテレビで取り上げていたが、そういった企業からも選ばれる市になっていくために、魅力ある大和市をしっかりと周知していく。
- ・ 大和市はハコモノを作って市民サービスはよくなったので、これからは道路整備をして街づくりをしていくのが大事だと思っている。
- ・ 空いている土地を有効活用していくことが重要。
- ・ 稼げるまちにしていくためにも、大和市が選ばれるまちになるためにも、災害に強いまちであり、市内に鉄道3社8つの駅があり、道路網も発達している魅力あるまちと思ってもらえるようにしていきたい。

#### 【Bグループ】

- ・ 企業誘致は具体的な計画に基づいて進めていくことが重要である。
- ・ 待ちの姿勢ではなく、税制優遇など思い切った企業誘致策が必要。
- ・ 大和市として、他市との差別化を図り魅力を向上させるべき。
- ・ 事業の優先順位付けはとても難しいと思うが、市民アンケートでニーズの高いものは市と市民が協力してお金を出し合って事業をするというのも一つの手段として考えてもよいのではないか。
- ・ 泉の森のキャンプ場など十分に活用されていない場所は、集客を増やし利用料をしっかりと徴収することも必要である。

- ・ 公共施設の利用率について、他市の住民は引き上げる。
- ・ 事業見直しには市民の反対が多いと思うが、それを説得していく覚悟が必要である。

#### 【市長】

- ・ 市民の皆さんとタウンミーティングを行うのは、健全化の説明をする第一歩であり、大和市は開かれたところで財政健全化を実現していきたい。
- ・ 企業誘致は厚木市が先進的で40年前から取組を進めており、市の組織にプロジェクトを作り、ヒト・モノ・カネを入れてやっている。
- ・ 厚木市は毎年度法人市民税が約70億円入っている。
- ・ 大和市の法人市民税は18億円で52億円も違う。
- ・ 厚木市は人口が減っているが、大和市が横浜市、川崎市、海老名市とともに県内で人口が増えており、選ばれる市になっている。
- ・ 大和市の企業誘致はこれからであり、私が営業マンとなって各企業に行って大和の魅力を訴えているところである。
- ・ 大和市には私鉄3社が乗り入れているので、花博後のテーマパークに世界中から人が集まってくるのを取りこぼさないようにしたい
- ・ 厚木基地は大前提として返還があるが、それまでの間は民間利用することも要望していきたい。
- ・ 同じ航空機でも、軍用機よりも人が幸せになる物を運ぶ民間機のほうがいい。
- ・ 人の流れができれば経済が生まれる。
- ・ 羽田は世界有数の混雑空港であるため、厚木基地が民間利用できるようになり市民の経済が潤う形になったらと思う。
- ・ 相模原市はリニアに力を入れており、海老名市、綾瀬市にはスマートICがあり、ヒト・モノが動くことが地域経済の活性化を生むきっかけになる。
- ・ 大和市でもそういった発想をもって動いている。時間はかかるが今は種を蒔いているところ。そういうところを柔軟にやっていきたい。

#### 【Cグループ】

- ・ 歳入確保の観点から、他のグループからも出ていたが、企業誘致を進めていくべきであるという意見が多かった。
- ・ 同じく歳入の観点で、花博を上手く活用して行ってほしい。
- ・ 都市鉱山、レアメタルについて、資源回収して市にお金が入ってくるようにすべきではないか。
- ・ シリウス、ポラリスは稼げないと説明があったが、例えばシリウスの6Fのスペースなど、もっとお金をとれるようなこと、例えばスポーツ的なことで稼げる施設にすることができるのではないか。
- ・ ポラリスが建つ前は駐輪場だったので、建設のタイミングで地下に有料駐輪場を作っておけば収入を得ることができたはずであり、今後は利益を生むことをしていくべきである。
- ・ ビルド&スクラップについて、これをどう突破していくのか市長の考えを聴

かせてほしい。

**【市長】**

- ・ 企業誘致については、花博とその後のテーマパークで働く人が2万人ぐらい来ると言われている。
- ・ 働く人を瀬谷だけでは受け止めきれないので、横浜にも流れると思うが現実的には大和市が多くなると考えている。
- ・ 大和に若者を受け入れる形をとっていきたいので、例えば“恋愛都市やまと”など、柔軟な発想で若者を呼び込んでいきたい。
- ・ 現在の苦しい財政をどのように突破していくのか。
- ・ 今まではトップダウンで物事を決めてきたが、そこを止めきれなかった。
- ・ 私は柔軟な発想を持っているので、職員と市民の声を吸い上げてそこから見えてくるものが大事だと思っている。
- ・ あとは私の営業力で企業の社長や会長など力のあるかたに会って誘致を働き掛けることが自分の仕事だと思っている。
- ・ 大和市は防災に強いということは一つの売りである。
- ・ 企業がお金をかけて進出を決めるにあたり、地盤が危うい場所を選ばない。
- ・ 大和市は厚木基地があり、私鉄3社が乗り入れており、歴史的に見ても地盤がしっかりしていることがわかる。
- ・ そういったところに加え、利便性が高いことも売りにして企業誘致を実現させていきたい。
- ・ 東急、小田急、相鉄、各社のトップに会っており、私が語る夢に対して興味を持ってきている。
- ・ 時間はかかるが、そう思ってくれる方々を巻き込みながら大和市を魅力あるまち、発展できるまちにしていきたい。

以上